

# JAMP AIS 入力支援ツール

## Ver. 4.1 操作説明書

2013 年 6 月 25 日



*Copyright 2013 JAMP. All Rights reserved.*

# 目次

<b>JAMP AIS 入力支援ツール      Ver. 4.1 操作説明書 .....</b>	<b>1</b>
<b>1.    はじめに.....</b>	<b>1</b>
1.1.    本書の内容 .....	1
1.2.    動作環境 .....	1
1.3.    本書での表記法 .....	2
<b>2.    入力支援ツールの利用方法.....</b>	<b>3</b>
2.1.    想定されている用途の例.....	3
2.2.    想定されていない用途の例 .....	3
<b>3.    入力支援ツールの操作説明.....</b>	<b>4</b>
3.1.    本ツールの起動.....	4
3.1.1.    外部リストの配置 .....	4
3.1.2.    マクロの有効化 .....	5
3.1.3.    説明シート～機能選択 .....	7
3.1.4.    外部リストバージョンの確認.....	7
3.1.5.    作業モードの選択 .....	8
3.1.6.    言語設定の切り替え .....	8
3.2.    一般情報シート.....	9
3.2.1.    AIS に関する情報 .....	10
3.2.2.    発行者会社情報 .....	11
3.2.3.    成形品情報 .....	12
3.2.4.    組成成分情報 (成形品).....	13
3.2.5.    その他の情報.....	14
3.3.    一般情報シートの操作 .....	15
3.3.1.    XML 読込ボタン .....	15
3.3.2.    一般情報初期化ボタン .....	16
3.4.    成分表シート .....	17
3.4.1.    階層.....	18
3.4.2.    部品.....	18
3.4.3.    材質.....	19
3.4.4.    物質.....	20
3.4.5.    報告物質該当法令等 .....	22
3.5.    成分表シートの操作.....	24
3.5.1.    成分表初期化ボタン .....	24
3.5.2.    選択行削除ボタン .....	24
3.5.3.    集計ボタン .....	25

3.5.4.	物質情報更新ボタン .....	27
3.5.5.	エラーチェックボタン .....	29
3.5.6.	XML 出力/一時保存ボタン .....	30
<b>3.6.</b>	<b>成分表シートを選択画面.....</b>	<b>32</b>
3.6.1.	物質選択画面 (詳細説明).....	32
3.6.2.	REACH ANNEX XVII / POPs ANNEX I 物質用途選択画面 .....	33
3.6.3.	ELV の適用除外の選択 .....	34
3.6.4.	RoHS の適用除外の選択 .....	35
<b>3.7.</b>	<b>依頼者情報シート .....</b>	<b>36</b>
<b>3.8.</b>	<b>動作設定シート .....</b>	<b>37</b>
3.8.1.	起動時の設定.....	37
3.8.2.	発行者会社情報ひな形 .....	37
3.8.3.	依頼者会社情報ひな形 .....	38
3.8.4.	設定の保存 .....	38
<b>3.9.</b>	<b>複合化シート .....</b>	<b>39</b>
3.9.1.	ファイルの追加 .....	39
3.9.2.	複合化に使用できないファイル .....	39
3.9.3.	ファイルの削除 .....	40
3.9.4.	追加した AIS の内容確認.....	40
3.9.5.	複合化の実行.....	41
<b>4.</b>	<b><u>トラブルシューティング .....</u></b>	<b><u>42</u></b>
4.1.	エラーが表示されて先の操作に進めない場合 .....	42
4.2.	Microsoft Excel のバグによる挙動の不具合 .....	42
4.3.	Microsoft Excel の設定による挙動の不具合 .....	42

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-1(三井住友銀行神田駅前ビル7階)

一般社団法人産業環境管理協会内

JAMP事務局

E-mail: [jamp@jemai.or.jp](mailto:jamp@jemai.or.jp)

# 1. はじめに

---

## 1.1. 本書の内容

本書は JAMP 内で作成された AIS 入力支援ツール（以下、本ツールと記載）の操作説明書です。本ツールの操作方法について、以下の章で説明します。

### 2 入力支援ツールの利用方法

主な利用方法を取りあげ、各用途において本書のどこを参照すればよいか紹介しています。

### 3 入力支援ツールの操作説明

ツール各部の操作方法について説明しています。

### 4 トラブルシューティング

ツールを使用する上で発生しやすい問題を取りあげ、その解決策を説明しています。

## 1.2. 動作環境

入力支援ツールの動作環境は以下の通りです。

- Windows XP ServicePack3 以降
- Microsoft Excel 2003 から 2010 まで
- 表示画面解像度：1024 x 768 ドット以上

### 所有権 著作権

本ツールは JAMP により作成されたものです。所有権、著作権は JAMP にあります。本ツールを単独、あるいは他の製品の一部分として販売することはできません。また、本ツールの一部、または全部を無断で他のツールに組込むことを禁止します。その場合は、必ず JAMP までご相談ください。

### 配付

JAMP AIS の作成を目的とする範囲でコピー、配付することを認めます。

### 免責事項

本ツールを所持、使用したために発生した損害に対して JAMP は一切の責を負いません。また JAMP は本ツールの誤りの修正や保守についての義務を負いません。ツールに内蔵する報告物質の情報は入力への支援を目的に用意されたものであり、法令等の検索や物質名と CAS 番号の照合などに使用した場合その結果として作成された物質の情報に関する責任はその利用者に帰するものであり、JAMP は一切の責を負いません。従って、本ツールを使用して作成された AIS の内容はすべてその利用者の責となります。

### 1.3. 本書での表記法

#### XML

AIS のファイルは XML ファイル形式で保存されます。本書および本ツール内で「XML」と表記されている場合は、AIS の XML ファイルを意味します。

#### 旧版

本書および本ツールは Ver. 4.0 および Ver. 4.1 を扱うものですが、本書内で「旧版」と表記されている場合は、以前の版である Ver. 3.0～Ver. 3.1 を指します。



このアイコンは、旧版からの変更点や運用上の注意点などを表します。



このアイコンは、操作上の禁止事項や、望ましくない運用方法などへの警告を表します。

## 2. 入力支援ツールの利用方法

---

### 2.1. 想定されている用途の例

本ツールは下記の例のような用途を想定しています。

#### **既存の AIS の参照**

既存の AIS を読んで参照することができます。

- 編集モードの起動方法について、「3.1.5 作業モードの選択(8 ページ)」を参照してください。
- 既存 AIS の読み込みについて、「3.3.1XML 読みボタン(15 ページ)」を参照してください。
- 受領した AIS の内容を確認する場合は「3.5.5 エラーチェックボタン(29 ページ)」を参照してください。

#### **新規の AIS の作成**

本ツールの各シートに情報を入力し、AIS を出力します。

- すでに入力されている内容がある場合、新規作成する前に入力内容を初期化する必要があります。初期化の操作方法は、「3.3.2 一般情報初期化ボタン(16 ページ)」および「3.5.1 成分表初期化ボタン(24 ページ)」を参照してください。

#### **既存の AIS の読み込み、編集、および新規 AIS の作成**

作成済みの AIS の改版、旧版の書式更新、既存 AIS を元にした類似品 AIS の記入などは、これらの AIS を読んで編集し、別の AIS もしくは新規の AIS として出力できます。この方法は AIS を出力する労力が少なくて済みます。

- 既存 AIS の読み込み方法は、「3.3.1XML 読みボタン(15 ページ)」を参照してください。
- Ver. 4.1 の AIS でも、物質リストや書式が更新された場合は、既存の回答に新しい物質リストの該当情報や書式を適用し直して再出力しなくてはならない場合があります。両者の更新は「3.5.4 物質情報更新ボタン(27 ページ)」を参照してください。

#### **製品の AIS の作成のため、既存の AIS の複合化**

原部品もしくはユニットの AIS を複合化して、複合化 AIS を作成します。

- 複合化モードの起動方法は、3.1.5 作業モードの選択(8 ページ)を参照してください。
- 複合化方法は、3.9 複合化シート(39 ページ)を参照してください。

### 2.2. 想定されていない用途の例

#### **各種の情報を記入した本ツールを、Excel ファイルとして流通させること**

本ツールは AIS の閲覧および作成のために使用されることを想定して作られています。それ故、各種情報を記入した本ツールを、Excel ファイル形式のまま回答として流通させることは想定されていません。本ツールで作成された xml ファイルを流通させて下さい。

## 3. 入力支援ツールの操作説明

### 3.1. 本ツールの起動

本ツールの起動時に注意すべき点について説明します。

#### 3.1.1. 外部リストの配置

Ver. 4.0 からの本ツールは、物質/材質/各種該当法令の適用除外等のリストを外部ファイル化したため、単独では動作しません。図 3-1 に示されるように JAMP の WEB サイトで配布されている外部リストファイルを、本ツールと同じフォルダに配置してください。なお、ファイル名は本書が発行された時点のものであり、今後変更されることがあります。物質リスト改訂の際には更新された外部リストが JAMP のウェブサイトから配布されますので、速やかにダウンロードして常に最新版を使用することを推奨します。外部リストの標準的なファイル名は「JAMP\_MSDSplus\_AIS\_EXLIST\_{改訂日付}」です。



外部リストを配置する際、ファイル名を変更しないでください。

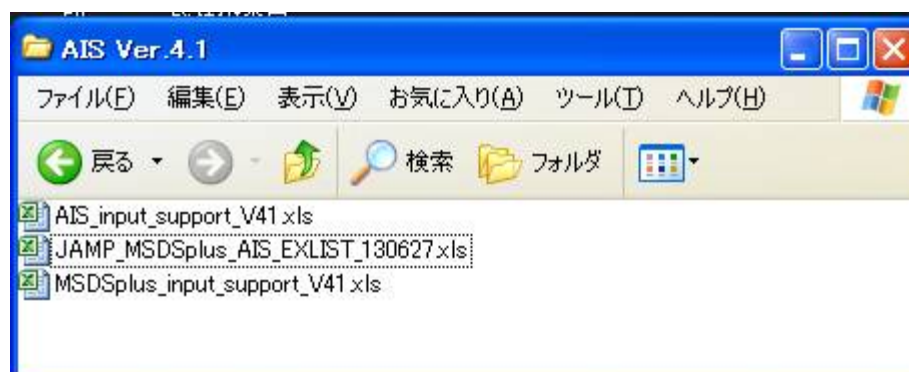


図 3-1 外部リストの配置

### 3.1.2. マクロの有効化

本ツールは Microsoft Excel のマクロ機能により動作するため、マクロの実行を有効にして下さい。有効にする方法は Excel のバージョンによって異なりますので、詳細を以下に記載します。

#### Excel2002 と Excel2003 の場合

図 3-2 に示されるように、Excel のメニュー[ツール (T)]→メニュー[マクロ(M)]→メニュー[セキュリティ(S)]→[セキュリティレベル]ページでレベルを中に設定し、本ツールを起動します(Excel ファイルをダブルクリック)。そして、起動後の最初の画面で[マクロを有効にする(E)]をクリックします。

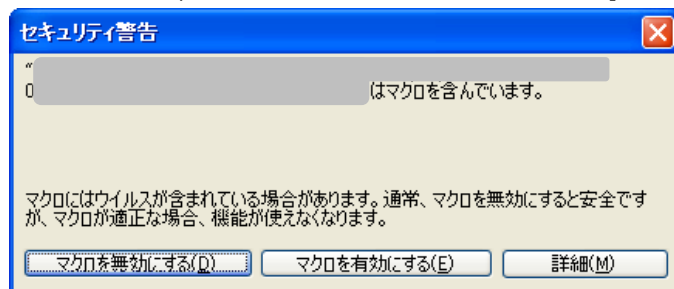


図 3-2 Excel2003 以前のマクロを有効化にする画面

#### Excel2007 の場合

図 3-3 に示されるように本ツールを起動すると、Excel のメニューの下（画面上部の帯）にセキュリティの警告が表示されますので、[オプション]をクリックします。表示されたセキュリティオプションの画面で、[このコンテンツを有効にする]を選択します。

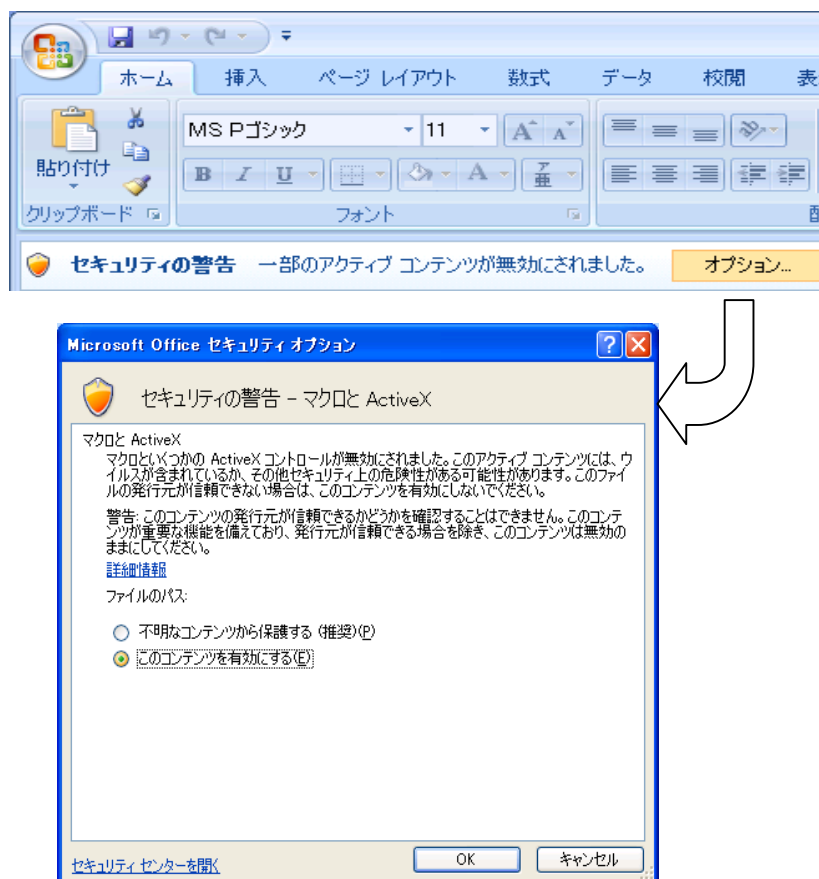


図 3-3 Excel2007 のマクロを有効化にする画面



## Excel2010 の場合

図 3-4 に示されるように本ツールを起動すると、Excel のメニューの下（画面上部の帯）にセキュリティの警告が表示されますので、[コンテンツの有効化]をクリックします。

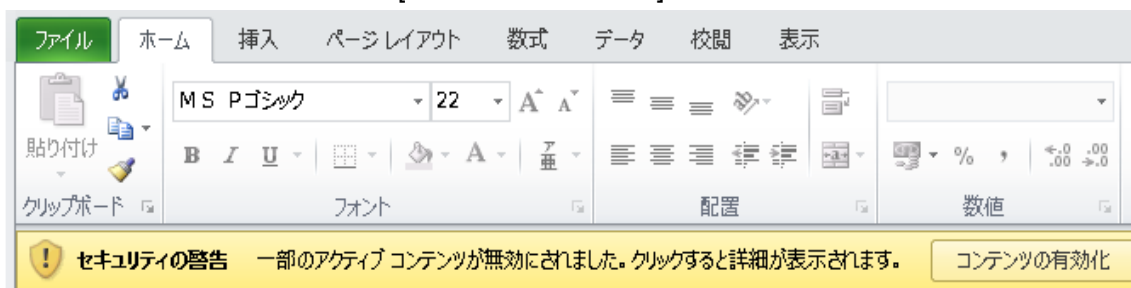


図 3-4 Excel2010 のマクロを有効化にする画面

3.1.3. 説明シート～機能選択

本ツールが起動されると、最初に図3-5に示される説明シートが表示されます。なお、材質リストと物質リストのバージョンは本書が発行された時点のものであり、今後変更されることがあります。

JAMP AIS入力支援ツール(4.1版)	
本ツールは、JAMP AIS の閲覧、作成および複合化を支援するツールです。 AISをサプライチェーン上で初めて作成したり、既存AIS閲覧・編集するための〈AIS編集〉機能と、 AIS編集を行う場合は、【AIS編集】ボタンを、AIS複合化を行う場合は【AIS複合化】ボタンを 尚、それぞれの記入にあたっては、JAMPのWEBサイトに掲載されている作成手順書、ツール操作説明書をご覧ください。	
ツールの起動について	
本ツールの動作環境は以下の通りです。 本ツールの正常動作には、Excelマクロが有効となっている必要があります。 Excel2007以降の環境をお使いの場合、起動時にマクロが自動的に無効化されている場合があります。	
外部リストについて	
本ツール(バージョン4.1)は、物質/材質/各種該当法令の適用除外等のリストを外部ファイル化したため、単独では動作しません。 (標準的なファイル名は「JAMP_MSDSplus_AIS_EXLIST_〔改訂日付〕.xls」です。配置する際、ファイル名を変更しないでください。) 物質リスト改訂の際には外部リストの更新版が配布されますので、常に最新版を使用することを推奨します。 【最新バージョンを確認】ボタンもしくは起動時に自動でJAMPのWEBサイトをチェックし、更新版が配布されているか確認できます。	
外部リスト	材質リスト 2.01
	物質リスト 4.000

図 3-5 説明シートの画面

3.1.4. 外部リストバージョンの確認

インターネットに接続された状態で本ツールを起動させたときに、以下のダイアログ(図3-6)が表示されれば正常です。

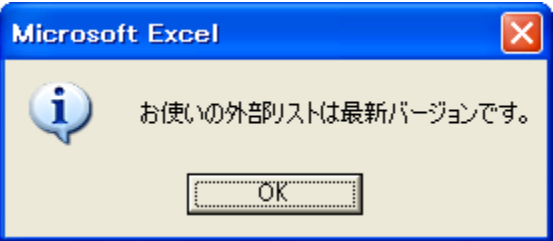


図 3-6 正常の画面（インストールされている外部リストが最新バージョン）

図3-7が表示されたときは、古い外部リストのファイルがインストールされています。JAMP のウェブサイトから最新の外部リストをダウンロードし、同じフォルダに配置してから本ツールを起動してください。

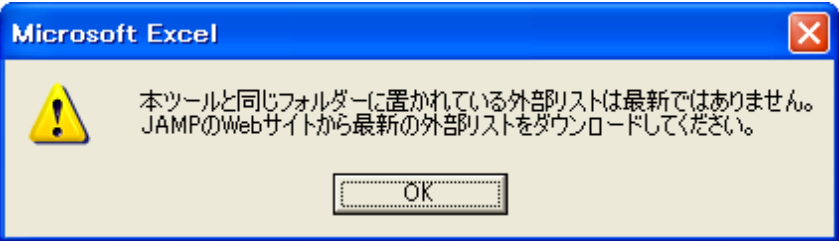


図 3-7 異常の画面（インストールされている外部リストが古いバージョン）

### 3.1.5. 作業モードの選択

外部リストバージョンの確認後に表示される「説明」シートに、「AIS 編集」ボタンと「AIS 複合化」ボタンが表示されます（図 3-8）。使用したい機能のボタンをクリックすると、それぞれの機能のシートが表示されます。



図 3-8 作業モードの選択ボタンの画面

#### 「AIS 編集」モード

「AIS 編集」を選択すると、新規 AIS の作成や既存 AIS を参照および編集するモードになります。AIS Ver. 3.1 の「AIS 編集」モードに相当する機能は、「12 JAMP AIS VER3.1 準拠入力支援ツール」です。

#### 「AIS 複合化」モード

「AIS 複合化」を選択すると、本ツールで作成した複数の xml ファイルを一つの xml ファイルに複合化するモードになります。AIS Ver. 3.1 の「AIS 複合化」モードに相当する機能は、「14 JAMP AIS VER3.1 複合化・単純化ツール」です。「AIS 複合化」モードの詳細は「3.9 複合化シート(39 ページ)」に記載されています。



AIS を編集してから複合化するなど操作中にモードを切り替えたい場合は、一度、説明シートに戻ってから再度これらのボタンをクリックして切り替えます。

### 3.1.6. 言語設定の切り替え

本ツールは日本語、英語、中国語に対応しています。別の言語で使用したい場合は編集モードを選択した後、「動作設定シート(37 ページ)」で、使用する言語を切り替えて下さい。

3.2. 一般情報シート

AIS の一般情報を入力するシートです。＊印がついている項目は必ず記入してください。未入力の必須項目は、入力セルがオレンジ色で表示されます。灰色のセルは自動的に入力される項目ですので、特定の数値や文字を入力できません。なお、本シートに記載されている数値は、本書が発行された時点のものであり、今後変更されることがあります。

XML読み込み

一般情報を初期化

※ 太枠内をご記入ください。  
※ 印のある欄は必須入力です

1. AISに関する情報

リスト	使用書式	Ver.4.1
	材質リスト	2.01
	物質リスト	4.000
	GPシートID	9999999999999999
シート管理番号		
初版	発行日付	*
改訂	改訂日付	
	改訂履歴	* 1

2. 発行者会社情報

会社名	英字表記	*
	母国語表記	
会社ID	登録機関ID	
	会社ID	
発行部門	部門名	*
	住所	*
	電話番号	*
	FAX番号	
作成部門	メールアドレス	
	部門名	
	電話番号	
	追加情報	

3. 成形品情報

製造者会社名	*	
	一般商品名	*
	英字表記	*
	母国語表記	
	複数品名・シリーズ品名	
発行者備考		

4. 組成成分情報（成形品）

成形品	報告単位	*	個
	質量	*	
	質量単位	*	g
	組成成分情報に関する宣言	1. 本製品は、記述のとおり報告物質成分法令等に該当する物質の含有を確証しております	
材質質量総計			
GADSL			1. GADSLを対象とする
JIG			1. JIGを対象とする

5. その他の情報

引用文献・制約/注意事項
--------------

図 3-9 一般情報シートの画面

次ページ以降、入力項目の注意点について説明します。全ての入力項目の詳細は「JAMP AIS 作成手順書 Ver. 4.1 準拠」に記載されています。

### 3.2.1. AIS に関する情報

発行する AIS そのものに関する情報を記入する欄です。なお、図 3-10 に記載されている数値は、本書が発行された時点のものであり、今後変更されることがあります。

#### 1. AISに関する情報

使用書式		Ver.4.1
リスト	材質リスト	2.01
	物質リスト	4.000
GPシートID		9999999999999999
シート整理番号		
初版	発行日付 *	
改訂	改訂日付	
	改訂履歴 *	1

図 3-10 AIS に関する情報(一般情報シート)の画面

#### 使用書式

編集中の AIS の書式バージョンです(今回は Ver. 4.1)。旧版 AIS を読み込むと Ver. 3.1 以前の書式バージョンが表示されますが、物質情報更新を行うことにより新書式に変換出力するものとみなし、書式バージョンも Ver. 4.1 に更新されます。

#### リスト/材質リスト、物質リスト

読み込んでいる AIS 材質分類リストおよび AIS 物質用途リストのバージョンが表示されます。古いバージョンが表示される場合は、物質情報を更新して、最新バージョンを表示させて下さい。

#### 初版/発行日付

AIS を最初に記入した年月日を記入してください。[一般情報を初期化]をクリックすることによって、自動的に当日の日付が入ります。

#### 改訂/改訂日付、改訂履歴

改訂日付には AIS を改訂した最新の年月日を記入してください。初版の場合は記入不要ですが、改訂済みの場合(改訂履歴が 1 以外の場合)は入力必須となります。

改訂履歴には改訂版数を整数で記入してください。初版の場合は 1、以降改版ごとに 2、3 と増やした値を入力します。

### 3.2.2. 発行者会社情報

AIS を発行した会社の情報を記入する欄です。

2. 発行者会社情報		ひな形から読出
会社名	英字表記 *	
	母国語表記	
会社ID	登録機関ID	
	企業ID	
発行部門	部門名 *	
	住所 *	
	電話番号 *	
	FAX番号	
	メールアドレス	
作成部門	部門名	
	電話番号	
追加情報		

図 3-11 発行者会社情報(一般情報シート)の画面

#### 会社名/英字表記、母国語表記

英字表記の項目には、半角英数および記号文字のみが入力可能です。母国語表記の項目には、日本語やその他の言語表記での発行者会社名を入力してください。



旧版 AIS を読込んだ際、従来の発行者会社名は英字表記の項目に読込まれますが、日本語などが含まれている場合、そのままでは出力時にエラーとなります。旧版からの更新時には母国語表記欄に転記し、英字表記欄を別途記入してください。

#### ひな形から読出

[ひな形から読出]をクリックすると、「動作設定」シートの“B.発行者会社情報ひな形”欄に記載されている内容がコピーされます。発行者会社情報は複数の AIS で繰り返し同じ情報を入力することが多いため、この機能を利用すると効率よく AIS を作成できます。

3.2.3. 成形品情報

成形品の情報を入力します。

3. 成形品情報

製造者会社名 *		
一般商品名 *		
発行者型番	英字表記 *	
	母国語表記	
複数品名・シリーズ品名		
発行者備考		

図 3-12 成形品情報(一般情報シート)の画面

発行者型番/英字表記、母国語表記

英字表記の項目には半角英数および記号文字のみが入力可能です。

母国語表記の項目には旧版と同じく、日本語やその他の言語表記での発行者型番を入力してください。



旧版 AIS を読込んだ際、従来の発行者型番は英字表記の項目に読込まれます。旧版の発行者型番には一部の記号が入力できませんでしたが、Ver. 4.0 以降は半角であればスラッシュ等の記号文字も入力可能となりました。

なお発行者型番の英字表記は XML 出力の際にファイル名の一部として使われますが、ファイル名として使用できない記号文字は、ファイル名の上では「\_」に変換されます。

例：型番が「JAMP/SMPL001」のとき、ファイル名には「JAMP\_SMPL001」が含まれます。

### 3.2.4. 組成成分情報（成形品）

成形品の組成成分情報の概要を入力します(詳細は成分表シートに記載)。

#### 4. 組成成分情報（成形品）

成形品	報告単位 *	個
	質量 *	
	質量単位 *	g
組成成分情報に関する宣言 *		1. 本製品は、記載のとおり報告物質該当法令等に該当する物質の含有を確認しております
材質質量総計		集計
GADSL		1. GADSLを対象とする
JIG		1. JIGを対象とする

図 3-13 成形品情報(一般情報シート)の画面

#### 成形品/報告単位

報告単位は選択入力式となっていますので、プルダウン後に表示される入力候補のリストから選択してください。

#### 成形品/質量、質量単位

質量単位は選択入力式となっていますので、プルダウン後に表示される入力候補のリストから選択してください。

#### 組成成分情報に関する宣言

報告物質該当法令等に該当する物質の含有の有無を選択してください。



XML 出力時に、成分表の記載内容と矛盾がないかどうかの確認が行われます。含有を確認しているとしながら成分表にはその記載がない場合(またはその逆)、出力時にエラーとして表示されます。

#### 材質質量総計

「集計」をクリックすると、成分表に入力されている材質情報を元に、材質質量の総計と成形品中に占める割合が算出されます。そして、[材質質量総計]が表示されます。また同時に、「集計」シートに材質情報集計結果と物質情報集計結果が表示されます。詳細は 3.5.3 集計ボタン(25 ページ)を参照してください。

#### GADSL、JIG

Ver. 4.0 および Ver. 4.1 では固定され、「対象とする」が必須となります。



旧版読み込み時には読込んだデータに従って「対象としない」が表示される場合もありますが Ver.4.0 として出力する場合には「対象とする」に更新する必要があります。詳しくは「3.5.4 物質情報更新ボタン(27 ページ)」を参照してください。



### 3.2.5. その他の情報

引用文献・制約/注意事項を図 3-14 に表示されているセルに入力します。

#### 5. その他の情報

引用文献・制約/注意事項	
--------------	--

図 3-14 その他の情報(一般情報シート)の画面

### 3.3. 一般情報シートの操作

一般情報シート上部に表示されているボタン操作について説明します。

#### 3.3.1. XML 読込ボタン

既存 AIS の読込み方法について説明します。一般情報シートの XML 読込ボタンをクリックすると、読込対象の AIS を選択するダイアログが表示され、そのダイアログの中で AIS の xml ファイルを指定することで読込みが行われます（図 3-15 を参照）。

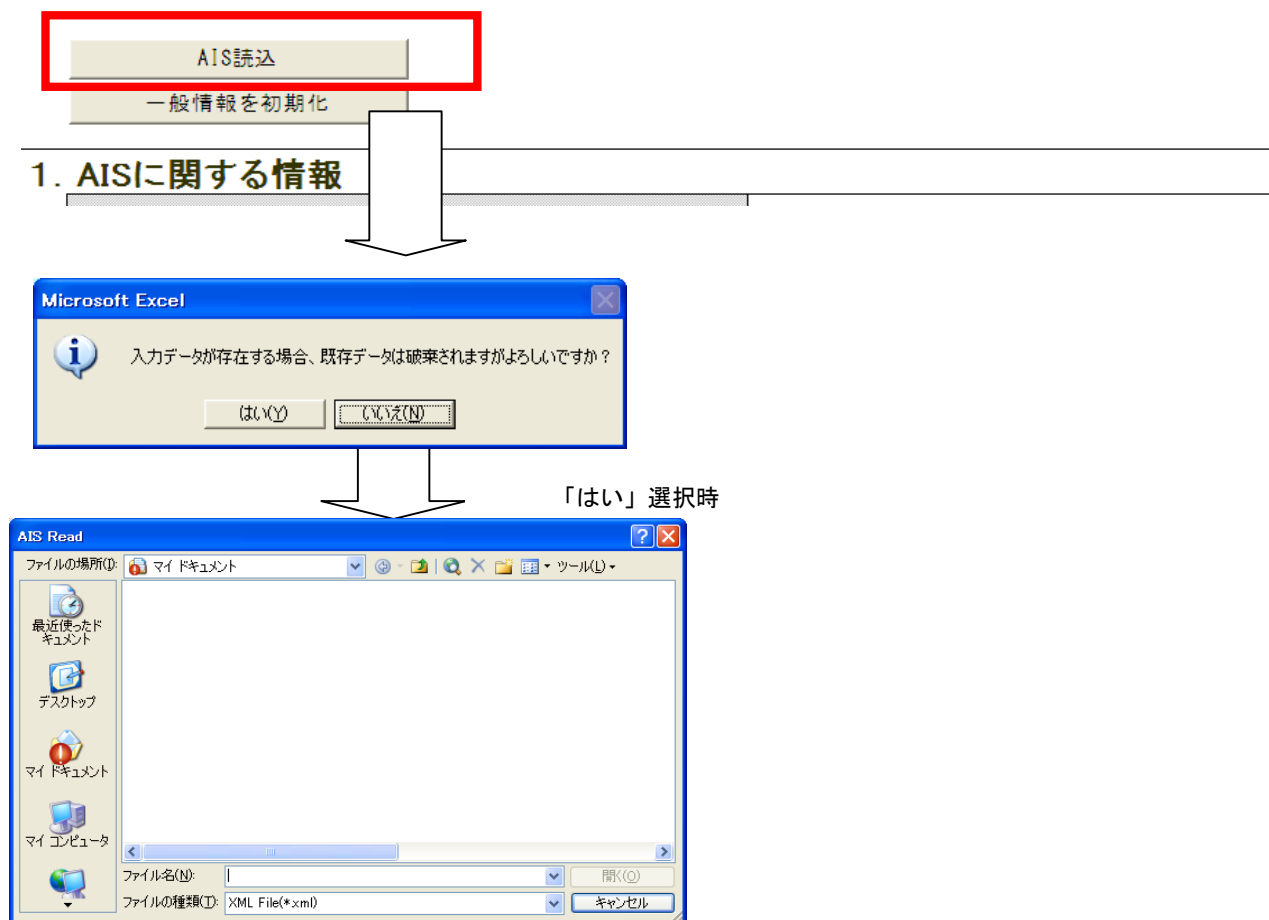


図 3-15 XML ファイルの読込方法操作の画面

#### 本ツールで読込可能なファイル形式

以下のファイルを読込できます。

- 原部品または複合化 AIS4.0 のファイル（ファイル名は「AISA4\_{出力日付}\_{製品型番}.xml」など）
- エラーを含む AIS（ファイル名は「AISA4\_Error\_{出力日付}\_{製品型番}.xml」など）
- 一時保存の AIS（ファイル名は「AISB4\_Temp\_{出力日付}\_{製品型番}.xml」など）
- 旧版の AIS（ファイル名は「AISA\_{出力日付}\_{製品型番}.xml」など）



本ツールは既存 AIS の参照用ツールとしても使うことができますので、旧版の AIS を単純化 AIS であっても読込むことができます。

## XML 読込処理

記載行数の多い成分表の場合、AIS の読込みに時間がかかります。読込中は左下のステータスバーに「読込処理中です」と表示されます（図 3-16）。

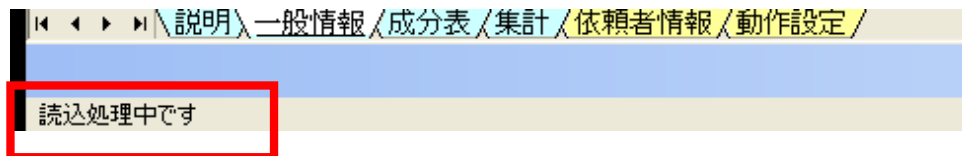


図 3-16 XML 読込中のステータスバー表示の画面

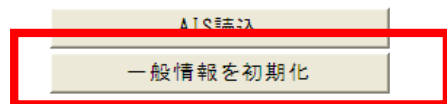
読込完了後に、図 3-17 に示される完了メッセージが表示されます。



図 3-17 XML 読込完了メッセージの画面

### 3.3.2. 一般情報初期化ボタン

図 3-18 に示されるように「一般情報を初期化」をクリックすると、成分表に入力されている全ての情報（値）を削除できます。また、入力途中で初期化を行うと内容が消去されて元に戻すことができませんので、ご注意ください。



#### 1. AISに関する情報

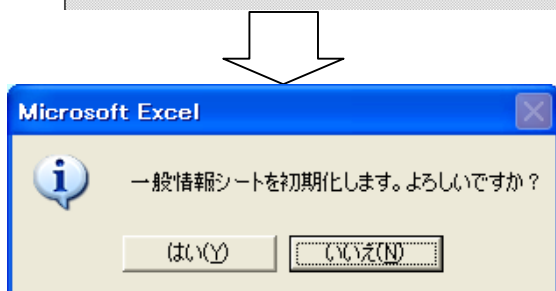


図 3-18 一般情報の初期化の画面

旧版の AIS の読込時には一般情報シートだけを初期化することはできず、成分表も同時に初期化されます。成分表の内容を残したい場合、先に物質情報の更新を行ってから(27 ページ)、[一般情報を初期化]してください（図 3-19）。

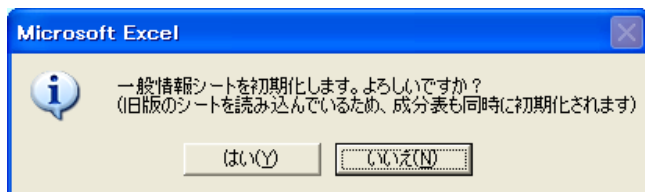


図 3-19 一般情報の初期化(旧版を開いている場合)の画面

### 3.4. 成分表シート

成形品の成分の詳細情報を入力するシートを図3-20に示します。\*印がついている項目は必ず記入してください。未入力の必須項目は、入力セルがオレンジ色で表示されます。灰色のセルは自動的に入力される項目ですので、特定の数値や文字を入力できません。

#### 4. 組成成分情報 (成分表)

成分表初期化		集計									
進捗率削除		物質情報更新		エラーチェック		XML一時保存		XML出力			

階層		部品		材質							
追加		追加		選択	追加						
名称	員数	名称 ※	員数 ※	用途 ※	分類記号 ※	名称	質量 ※	単位 ※	公的規格	備考	

物質					
選択	追加				
CAS番号	物質名	含有率	質量	単位	備考

報告物質該当法令等											
SVHC		CLP Annex VI CMR 1,2		I SIS PRI		REACH Annex XVII		POPs Annex I		IIV	
該当	備考	該当	備考	該当	備考	該当	物質用途	該当	物質用途	該当	適用除外

RoHS		GADSL		ILC624/4/JIG		任意報告物質	
該当	適用除外	該当	備考	該当	備考	該当	備考

図 3-20 組成成分情報 (横長のため、区切って記載しています)の画面

成分表は階層、部品、材質、物質の段階に分かれたツリー構造で構成されています。

### 3.4.1. 階層

複合化した成形品の構成を階層として記入する欄で、5000 階層まで記載が可能です（図 3－2 1）。原部品 AIS を新規作成する場合には階層の情報を記載する必要はなく空欄になりますが、複合化 AIS を作成する場合には階層名称・階層員数を記載しなくてはなりません。

階層	
追加	
名称	員数

図 3-21 階層入力欄の画面



AIS4.0 から、階層を記入する際には名称と員数の両方を記載することが必須になりました。

#### 階層の追加

階層欄の[追加]をクリックすると、階層単位の行を追加することができます。

### 3.4.2. 部品

階層中の最下層部品の情報を記入する欄で、同一階層中 1000 部品まで記載が可能です。全ての AIS で記載必須の項目です（図 3－2 2）。

部品	
追加	
名称 *	員数 *

図 3-22 部品入力欄の画面

#### 部品の追加

部品欄の[追加]をクリックすると、同一階層内に部品単位の行を追加することができます。

3.4.3. 材質

部品中の材質およびその質量等の情報を記入する欄で、同一部品中 50 材質まで記載が可能です。材質用途、分類記号、質量および質量単位は全ての AIS で記載必須の項目です（図 3－23）。

材質						
<div>選択追加</div>						
用途	分類記号	名称	質量	単位	公的規格	備考
*	*		*	*		

図 3-23 部品入力欄の画面

材質の追加

材質欄の[追加]をクリックすると、同一部品内に材質単位の行を追加することができます。

材質の選択

材質を入力したいセルを選択して材質欄の[選択]をクリックすると、材質選択ダイアログが表示されます。選択肢から材質用途および材質を選んで[選択]をクリックすると、選択されていたセルに材質用途・分類記号および名称が入力されます。[キャンセル] をクリックした場合は、成分表への入力なしで画面が閉じます。

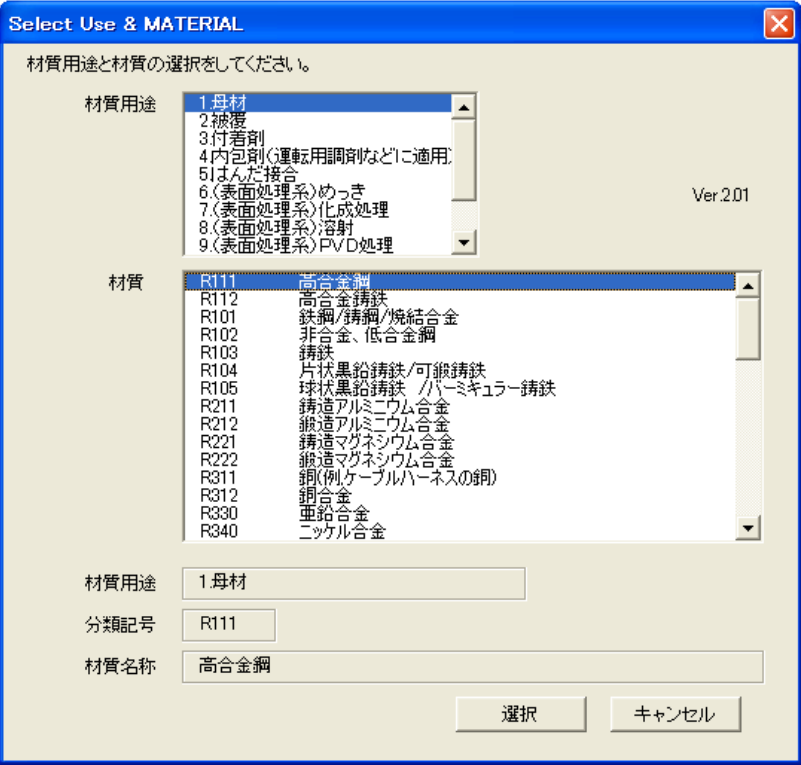


図 3-24 材質選択の画面



AIS Ver. 4.0 から、材質用途ごとに選択可能な材質分類が分けられることになりました。(旧版のデータで材質用途と材質分類の対応がとれていなくても、そのまま流通して問題ありません)

### 3.4.4. 物質

材質中の物質およびその含有率等の情報を記入する欄で（図 3-25）、同一材質中 50 物質まで記載が可能です。

物質					
<div>選択</div> <div>追加</div>					
CAS 番号	物質名	含有率	質量	単位	備考

図 3-25 物質入力欄の画面

#### 物質の追加

物質欄の[追加]をクリックすると、同一材質内に物質単位の行を追加することができます。

#### 物質の選択

図 3-26 に示されるように、物質を入力したいセルを選択して物質欄の[選択]をクリックすると、物質選択ダイアログが表示されます。選択枝から物質を選んで[選択]をクリックすると、選択されていた物質行の CAS 番号、物質名称および各法令の該当フラグが入力されます。[キャンセル] をクリックした場合は、成分表への入力なしで画面が閉じます。

物質選択

物質表示絞り込み

絞り込み

解除

検索

部分一致

完全一致

英名で検索

和名で検索

CASで検索

EC No.で検索

並び替え

英名順

CAS順

Ver. 4.000

CAS	EC No	NAME
10022-31-8	233-020-5	Barium-nitrate
10022-48-7	600-038-3	Chromic acid (H <sub>2</sub> CrO <sub>7</sub> ), dilithium salt, dihydrate
10022-68-1		Cadmium nitrate tetrahydrate; Cadmium nitrate
100231-59-2	309-359-0	Sodium [4-[[6-[(4-amino-6-chloro-1,3,5-triazin-2-yl)amino]-1-hydroxy-3-sulpho-2-naphthyl]azo]-
1002-53-5		Dibutyl tin
10025-68-0	233-037-8	Diselenium dichloride
100258-44-4	309-388-9	Strychnidin-10-one, arsenite (1:1)
10026-03-6	233-053-5	Selenium tetrachloride
10026-17-2	233-061-9	Cobalt(II) fluoride
10026-18-3	233-062-4	Cobalt fluoride (CoF <sub>3</sub> )
10026-22-9	600-049-3	Cobalt nitrate
10026-23-0	233-064-5	Cobalt(2+) selenite
10026-24-1	600-050-9	Cobalt sulfate heptahydrate
10028-18-9	233-071-3	Nickel fluoride (NiF <sub>2</sub> )
1002-68-6	213-694-7	Cobalt disteate

CAS 10022-31-8 EC No. 233-020-5

物質名[英語] Barium-nitrate

物質群名[英語] Barium compounds (organic or water soluble), selected

物質名[日本語] 硝酸バリウム

物質群名[日本語] バリウム化合物(有機化合物あり、水溶性化合物)

☐ EU01[2011/65/EU RoHS] ☐ EU04[REACH Annex XVII CMR1,2以外] ☐ OT01[ESIS PBT Fulfilled]  
☐ EU02[2011/37/EU ELV] ☐ EU05[REACH SVHC in Candidate List] ☒ IA01[GADSL]  
☐ EU03[CLP Annex VI CMR 1,2] ☐ EU06[POPs] ☐ IA02[EC62474/JIS]

図 3-26 物質選択の画面



物質選択画面には多岐にわたる物質検索手段が用意されています。ここでは入力方法だけを説明していますが、物質検索手段の詳細は「3.6.1 物質選択画面 (詳細説明)(32 ページ)」を参照してください。

### 物質用途および適用除外コードの入力

選択した物質によっては、続けて図3-27に示される選択画面が表示されますので、いずれかの物質用途および適用除外コードを選択してください。

- REACH Annex XVII 物質用途:「3.6.2 REACH Annex XVII / POPs Annex I 物質用途選択画面(33 ページ)」を参照してください
- POPs Annex I 物質用途:「3.6.2 REACH Annex XVII / POPs Annex I 物質用途選択画面(33 ページ)」を参照してください
- ELV 適用除外:「3.6.3 ELV の適用除外の選択(34 ページ)」を参照してください
- RoHS 適用除外:「3.6.4 RoHS の適用除外の選択(35 ページ)」を参照してください

### 物質含有率の入力

物質選択後に、材質中の含有率を入力します(図3-27)。材質質量が入力済みであれば、物質の含有質量は自動的に計算され、入力されます。

				物質					
				選択	追加				
質量 *	単位 *	公的規格	備考	CAS番号	物質名	含有率	質量	単位	備考
100.0	g			10022-31-8	Barium-nitrate	20.0%	20.0	g	
				10022-48-7	Chromic acid (H <sub>2</sub> Cr <sub>2</sub> O <sub>7</sub> ), dilithium salt, dihydrate	0.5%	0.5	g	

図 3-27 物質含有率の入力→質量自動計算の画面



### 3.4.5. 報告物質該当法令等

物質を選択すると、外部リストに納められている物質情報に基づくフラグ（該当フラグ）が自動的に表示されます（図 3-28）。通常は該当フラグを入力する必要はありませんが、物質情報に誤りがあった場合は発行者が適切な該当フラグを入力することが可能です。

報告物質該当法令等									
SVHC		CLP Annex VI CMR 1.2		ESIS PBT		REACH Annex XVII		POPs Annex I	
該当	備考	該当	備考	該当	備考	該当	制限用途	該当	制限用途
		1				1			

ELV		RoHS		GADSL		IEC62474/JIG		任意報告物質	
該当	適用除外	該当	適用除外	該当	備考	該当	備考	該当	備考
				D					
1	2(c)	1	1(b)	D/P		R			

図 3-28 該当入力欄の画面(実際には横 1 行)



Ver. 4.0 から該当フラグの選択肢の入力ルールが変更されたため、旧版 AIS を読込んだ際にはエラーチェックにより入力エラー扱いとなる場合があります。この場合は物質情報更新を行うことにより、選択肢の内容も Ver. 4.1 に従ったものに更新されます。

#### SVHC

旧版では SVHC に該当する場合は「1」を入力していましたが、本ツールからは入力選択肢が「C」「A」に変更されました。

- C: Candidate List(認可対象候補物質)
- A: Authorization(認可対象物質)

#### CLP Annex VI CMR 1.2

該当する場合は「1」を入力します。従来から変更はありません。

#### ESIS PBT

該当する場合は「1」を入力します。従来から変更はありません。

**REACH Annex XVII**

該当する場合は「1」を入力します。備考欄が廃止となり、物質によっては物質用途コードの入力が必要になりました。入力の必要性の有無は本ツールによって自動的に判断されます。

**POPs Annex I**

該当する場合は「1」を入力します。物質により物質用途コードの入力が必要です。

**ELV**

該当する場合は「1」を入力します。その場合は適用除外欄の入力が必須となります。従来から変更はありません。「1」が入力された状態で適用除外欄を選択すると、ELV 適用除外入力画面が表示されます。

**RoHS**

該当する場合は「1」を入力します。その場合は適用除外欄の入力が必須となります。従来から変更はありません。「1」が入力された状態で適用除外欄を選択すると、RoHS 適用除外入力画面が表示されます。

**GADSL**

旧版では必要に応じ「P」「D」「P/D」を入力する形式でしたが、本ツールからは入力選択肢が「P」「D」「D/P」に変更されました。

- P: Prohibited(禁止)
- D: Declarable(報告)
- D/P: 上記 P,D の両方に該当

**IEC62474/JIG**

旧版では必要に応じ「A」「B」を入力する形式でしたが、本ツールからは入力選択肢が「R」「A」「I」に変更されました。

- R: Regulated(法規制対象) IEC62474 の Criteria 1に該当する
- A: For Assessment Only(評価用のみ)IEC62474 の Criteria 2に該当する
- I: For Information Only (情報提供用のみ)IEC62474 の Criteria 3に該当する

**任意報告物質**

上記のすべての該当欄が空白の場合は、任意報告物質の該当欄に「1」と記入してください。具体的には、下記のような場合に「1」を記入して下さい。

- 物質リストに記載されていないが、運用上報告が必要であると判断し手入力した物質。
- 物質リストの以前のバージョンでは該当フラグ有りで記載されていたが、更新に伴い該当フラグの内容が変更され、結果としてどの法令等にも該当しなくなった物質。

3.5. 成分表シートの操作

成分表シート上部に表示されているボタン操作について説明します（図 3－29）。

4. 組成成分情報（成分表）

成分表初期化

集計

選択行削除

物質情報更新

エラーチェック

AIS一時保存

AIS出力

階層		部品		材質					
追加		追加		選択	追加				
名称	員数	名称	員数	用途	分類記号	名称	質量	単位	公的規格

図 3-29 成分表の操作ボタンの画面

3.5.1. 成分表初期化ボタン

「成分表初期化」をクリックすると、成分表に入力されているすべての情報を削除できます。  
入力途中で初期化を行うと内容が消去されて元に戻すことができませんので、ご注意ください。

X

旧版 AIS では成分表を空白にして提出すると、非含有報告として扱われるケースがありました。これは本来 AIS が想定していた運用ではなかったため、AIS Ver. 4.0 以降、成分表が 0 行の AIS は出力エラーになります。

3.5.2. 選択行削除ボタン

削除ボタンをクリックすると、選択された行が削除されます(物質行単位での削除となります)。削除した行を元に戻すことができませんので、ご注意ください。

### 3.5.3. 集計ボタン

成形品質量と成分表の入力後、一般情報シートもしくは成分表シートの[集計]をクリックして集計処理を実行させます。集計処理が終わると自動的に入力内容からサマリが抽出され、積算値が表示されます。集計処理の実行前には、成形品の質量と単位および成分表の物質含有率が正しく入力されていることも確認してください（図3-30）。

#### 4. 組成成分情報（成形品）

成形品	報告単位 *	個
	質量 *	310.0
	質量単位 *	g
組成成分情報に関する宣言 *		1. 本製品は、記載のとおり報告物質該当法令等に該当する物質の含有を確認しております
材質質量総計		<div>集計</div> <div>60.5g (19.516129%)</div>
GADSL		1. GADSLを対象とする
JIG		1. JIGを対象とする

#### 4. 組成成分情報（成分表）

成分表初期化

選択行削除

物質情報

エラー

クリック

AIS一時保存

AIS出力

階層		部品		材質						
名称	員数	名称 *	員数 *			用途	分類記号 *	名称	質量 *	単位 *
		ねじ	10.0	1	母		R103	鋳鉄	2.0	g
		ボルト	10.0	1	母		R103	鋳鉄	3.0	g

#### 材質情報集計結果

分類記号	材質名称	質量(g)
R111	高合金鋼	5.0
R103	鋳鉄	50.0
R211	鋳造アルミニウム合金	11.2
R311	銅(例、ケーブルハーネスの銅)	48.0
V421	特殊金属(金)	60.0
V412	その他の特殊金属(銀、パラジウム等)	120.0

#### 物質情報集計結果

CAS番号	物質名	質量(g)	SVHC		REACH Annex XVII	RoHS	
			該当	成形品中濃度	該当	該当	材質中最大濃度
10031-13-7	Lead arsenite	80.4	-	-	-	1	67.0%
100-57-2	Phenylmercury hydroxide	26.4	-	-	1	1	22.0%

図 3-30 集計ボタンの画面(一般情報シート、成分表シート)



操作性を高めるために2箇所に集計ボタンを設けてあります(どちらも同じ計算を行います)。また、XML出力時にも集計は自動で行われます。

集計シートには以下の項目があります。

**材質情報集計結果**

組成成分情報に記入されたすべての材質に関して、材質ごとに計算された総和の結果は〔材質情報集計結果〕に表示されます。分類記号の内容に従って計算されますが、分類記号の記入が無い場合は計算されません。また、階層と部品の員数が掛け算された後に合計値が計算されます。

**物質情報集計結果**

SVHC、REACH Annex XVII、RoHS のうちいずれかに該当する物質は、下記方法で算出されます。それぞれ該当しない法令は「-」が表示されます。

- SVHC: 該当フラグの内容および成形品質量中の物質濃度(%表記)を表示
- REACH Annex XVII: 該当フラグの内容のみ表示
- RoHS: 該当フラグの内容および均一材質中の最大濃度(%表記)を表示

### 3.5.4. 物質情報更新ボタン

成分表シートの「物質情報更新」をクリックすると、成分表の物質情報を最新の外部リストの内容に更新することができます。

#### 4. 組成成分情報（成分表）



図 3-31 物質情報更新の画面

物質情報更新時に確認ダイアログが表示されますが、「はい」を選択した場合は下記の情報が更新されます。

- 一般情報シート「使用書式」が Ver. 4.1 に更新されます。
  - ◇ 旧版の AIS の場合は、物質情報更新と同時に書式変換も行われます。これは Ver. 4.0 が旧版の物質リストにもとづいて記載することを認めていないためです。
- 一般情報シートの「材質リスト」および「物質リスト」のバージョン番号が、最新の外部リストと同じ数字に更新されます。
  - ◇ バージョン記載は AIS を記入する際に、どの時点のリストにもとづいて記載されたかを示すものです。物質情報更新により該当フラグが更新されますので、その時点で使用している外部リストの内容にもとづいて記載されたことになります。
  - ◇ Ver. 4.1 は GADSL および IEC62474/JIG についても必ず報告対象とすることを求めています。旧版では「対象としない」が選択されていた AIS についても、Ver. 4.1 に物質情報更新することで報告対象となります。それ故、実際に GADSL および IEC62474/JIG 該当について確認の上で情報流通を行ってください。
- 成分表シートの該当フラグがすべて現在使用している外部リストの内容にもとづいて、上書き更新されます。
  - ◇ 物質情報更新を行うと、成分表内の該当フラグは現在使用している外部リスト内容にもとづいて上書き更新されます。この場合、手入力された該当フラグもすべて外部リストの内容に置き換えられます。SVHC の追加などで物質リストが更新された場合は、既存の AIS の物質情報更新をもって改版とするこ

ともできますが、記載内容が 100%でない場合にはそれまで対象とされていなかった物質の情報が抜け落ちている可能性もあります。それ故、仕入先から受領した AIS の物質情報を更新する際にはこの点に注意してください。



物質情報の更新は現在使用中の外部リストの情報で成分表が更新されます。古い外部リストを使用している場合には最新の物質情報になりませんので、最新の外部リストであることをご確認の上で物質情報の更新を実施してください。

3.5.5. エラーチェックボタン

[エラーチェック]をクリックすると、入力内容が AIS の出力ルールから外れていないかを確認することができます。

情報の入力後に、成分表シートの[エラーチェック]をクリックすると、一般情報シート、成分表シート、依頼者情報シートに入力された情報のエラーチェックが実行され、結果が表示されます。

4. 組成成分情報（成分表）

成分表初期化

集計

エラーチェック

AIS一時保存


AIS出力

選択行削除

物質情報更新


階層		部品		材質				
追加		追加		選択	追加			
名称	員数	名称	員数	用途	分類記号	名称	質量	単位
		ねじ		材	R103	铸铁	2.0	g
		ボルト		材	R103	铸铁	3.0	g

Microsoft Excel

 エラーデータが存在します。詳細はレポートシートをご覧ください。

OK

Microsoft Excel

 エラーチェックが完了しました。入力はすべて正常です。

OK


操作終了

チェック結果

No.	種別	シート	行番号	項目名	内容
1	エラー	一般情報	6	使用書式	このAISは旧版であるため、このまま出力はできません。物質情報更新を行い書式バージョンを更新してください。
2	エラー	一般情報	16	会社名／英字表記	会社名／英字表記は200文字以下の半角英数字で入力してください。
3	エラー	成分表	10	物質／含有率	物質含有率が未記入です。
4	エラー	成分表	10	JIG／該当	JIG 該当記号には「R」、「I」、「A」のいずれかを入力、または空白にしてください。
5	エラー	成分表	12	JIG／該当	JIG 該当記号には「R」、「I」、「A」のいずれかを入力、または空白にしてください。
6	エラー	成分表	15	GADSL／該当	GADSL 該当記号には「P」、「D」、「D/P」のいずれかを入力、または空白にしてください。
7	エラー	成分表	15	適用除外	RoHS該当物質の場合、適用除外の選択は必須です。

図 3-32 エラーチェック～チェック結果表示の画面

エラーがない場合は完了メッセージのみ表示されます。エラーがある場合、エラーメッセージの後にレポートシートが表示されますので、内容を確認して修正して下さい。



エラーチェックは XML 出力時にも自動的に行われます。



### 3.5.6. XML 出力/一時保存ボタン

記入した内容を AIS または一時保存 AIS として出力する方法を説明します。

#### XML 出力

成分表シートの画面（本書 29 ページ）の[XML 出力]をクリックすると、図 3-33 に示される保存先ファイル名の指定画面が表示されます。そして、ファイル名として“AISA4\_+製品型番”が自動的に付けられます。尚、入力データにエラーが存在する場合のファイル名は“AISA4\_+ERROR\_+製品型番”になり、出力時にエラーメッセージが表示されます。

#### 4. 組成成分情報（成分表）

成分表初期化 集計 選択行削除 物質情報更新 エラーチェック AIS一時保存 AIS出力

階層		部品		材質				
追加		追加		選択	追加			
名称	員数	名称	員数	用途	分類記号	名称	質量	単位
		ねじ	10.0	1-母材	R103	鋳鉄	2.0	g
		ボルト	10.0	1-母材	R103	鋳鉄	3.0	g

エラーなし → エラーあり

Microsoft Excel  
エラーデータが存在します。詳細はレポートシートをご覧ください。  
このエラーを含んだXML生成も可能ですが生成しますか？  
(AISとして流通はできません)  
はい(Y) いいえ(N)

「はい」選択時

名前を付けて保存  
保存先(D): マイドキュメント  
最近使ったドキュメント  
デスクトップ  
マイドキュメント  
マイコンピュータ  
ファイル名(N): AISB4\_20111124\_NEJT-XXX.xml  
ファイルの種類(T): XML(\*.xml)  
保存(S) キャンセル

図 3-33 XML 出力の画面

ファイル名は以下のようになります。

- 正式版の原部品 AIS: 「AISA4\_[出力日付]\_[発行者型番].xml」
- 正式版の複合化 AIS: 「AISB4\_[出力日付]\_[発行者型番].xml」
- エラーを含む原部品 AIS: 「AISA4\_Error\_[出力日付]\_[発行者型番].xml」
- エラーを含む複合化 AIS: 「AISB4\_Error\_[出力日付]\_[発行者型番].xml」

記載行数が多い成分表の場合、XML の出力に時間がかかります。出力処理中は左下のステータスバーに「書き込み処理中です」が表示されます（図 3-34）。

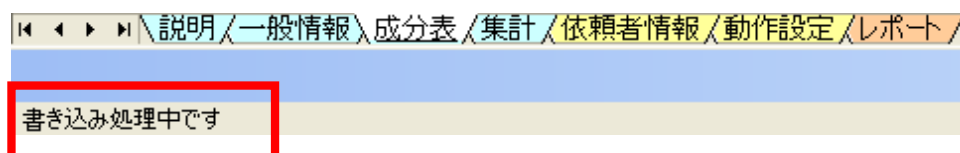


図 3-34 XML 出力中のステータスバー表示の画面

出力完了後には完了メッセージが表示されます（図 3-35）。



図 3-35 XML 出力完了メッセージの画面

### XML 一時保存

成分表シートの[XML 一時保存]をクリックすると、入力内容を XML ファイルとして一時保存することができます。一時保存の時には XML 出力時とは異なり、エラーチェックは行われません。

ファイル名は以下のようになります。

- 一時保存の原部品 AIS: 「AISA4\_Temp\_{出力日付}\_{発行者型番}.xml」
- 一時保存の複合化 AIS: 「AISB4\_Temp\_{出力日付}\_{発行者型番}.xml」



一時的に保存された状態もしくはエラーが含まれている XML 一時保存のファイルは、AIS 作業途中の保存を目的としています。それ故、このファイルを一般に流通させてはいけません。

### 3.6. 成分表シートの選択画面

#### 3.6.1. 物質選択画面（詳細説明）

物質の[選択]をクリックすると表示される、物質選択画面の詳細機能について説明します（図 3-36）。

図 3-36 物質選択画面の各機能の説明の画面

#### 物質表示絞込み

リストに表示される物質を該当法令の条件によって絞込みます(複数指定可能)。該当法令コードと法令名の対応は画面下部を参照してください。

#### 検索

現在、画面内のリストに表示されているの中から、指定文字列に該当する物質を検索します。物質の英語名、和名、CAS 番号、EC 番号のいずれかで部分一致/完全一致検索ができます。検索ボタンを続けてクリックすると、その条件に合致する次の物質にフォーカス移ります。

#### 並び替え

リストの表示内容を物質の英名または CAS 番号順に並び替えます(通常検索時は CAS 番号順です)。

#### 選択

画面中央のリストから物質を選択すると、画面下部に詳細が表示されます。内容を確認して[選択]をクリックすると、成分表に入力されます。

### 3.6.2. REACH Annex XVII / POPs Annex I 物質用途選択画面

REACH Annex XVII および POPs Annex I の物質用途選択画面について説明します。

REACH Annex XVII と POPs Annex I では選択肢の内容が異なりますが、同じ画面が表示されます。

**制限用途の選択**

EU04:REACH Annex XVII  
1:DBT(ジブチルスズ化合物)

制限用途の選択をしてください。該当がない場合は、XX-98を、本AISで報告しようとしている成形品にとって該当の判断ができない場合はXX-0を選択してください。

DBT-0	判断できない
DBT-1	一般向けで、食品との接触が意図されない、1 液および 2 液室温硬化型シーラント
DBT-2	一般向けで食品との接触が意図されない、製品塗布時に触媒としてDBT化合物を含有する
DBT-3	一般向けで食品との接触が意図されない、軟質ポリ塩化ビニル(PVC)(単体・硬質ポリ)
DBT-4	一般向けで食品との接触が意図されない、屋外用途を意図される際に安定剤としてDBT
DBT-5	一般向けで食品との接触が意図されない、屋外の雨どいや器具、屋根および壁面の被覆
DBT-98	上記以外の用途またはスズ換算0.1wt%以下の含有
DBT-99	適用除外非該当

記号 DBT-1 発効日 2009/06/01 期限

原文

Any one-component and two-component room temperature vulcanization sealants (RTV-1 and RTV-2 sealant) and adhesives which apply to the general public but are not intended for food contact

参考訳

一般向けで、食品との接触が意図されない、1 液および 2 液室温硬化型シーラント(RTV-1およびRTV-2シーラント)および接着剤(調剤および成形品用)

選択 クリア

図 3-37 REACH Annex XVII / POPs Annex I の物質用途選択の画面

#### 表示条件

物質用途の選択画面は、特定の CAS 番号でしか表示されません。

- 該当カラムに「1」が入力されていること
- 外部リスト内で、物質用途の入力が必要な物質として定義されていること

一覧から選択時、物質用途の原文および参考訳が表示されますので、内容確認して[選択]をクリックして入力してください。

内容を削除する場合は[クリア]をクリックしてください。

### 3.6.3. ELV の適用除外の選択

ELV 該当フラグが「1」である物質を選択した場合、ELV 適用除外選択画面が表示されます。成分表で ELV 該当フラグ「1」の適用除外欄を選択した場合にも表示されます。

図 3-38 ELV の適用除外選択画面

#### 選択条件

適用除外無し、閾値以下もしくはリストから適用除外コードを選択する必要があります。

- [リストより選択]を選んだ場合、リスト内から適用除外コードを指定して[選択]をクリックしてください。
- [適用除外無し]を選び[選択]をクリックすると、適用除外無し(No exemption)が入力されます。
- [閾値以下]を選び[選択]をクリックすると、閾値以下(Below threshold)が入力されます。

#### 検索

検索条件に文字列を入力し[文字検索]をクリックすると、リスト内から入力した文字列を含む行が選択されます。

#### 適用除外表示絞込み

リスト表示を物質群で絞込むことができます。絞込みを解除する場合は[解除]をクリックして下さい。



旧版 AIS では ELV 備考欄に適用除外コードを直接入力できますが、Ver. 4.0 以降は選択式になりました。旧版の AIS に入力されていた適用除外の情報は、外部リスト内に完全に一致するコードがあれば逆引きして引き継がれます。

### 3.6.4. RoHS の適用除外の選択

RoHS 該当フラグが「1」である物質を選択した場合、RoHS 適用除外選択画面が表示されます。成分表で RoHS 該当フラグ「1」の適用除外欄を選択した場合にも表示されます。

図 3-39 RoHS の適用除外選択画面

#### 選択条件

適用除外無し、閾値以下もしくはリストから適用除外コードを選択する必要があります。

- [リストより選択]を選んだ場合、リスト内から適用除外コードを指定して[選択]してください。
- [適用除外無し]を選び[選択]をクリックすると、適用除外無し(No exemption)が入力されます。
- [閾値以下]を選び[選択]をクリックすると、閾値以下(Below threshold)が入力されます。

#### 絞込み

絞込み条件を選択、もしくは文字列を入力して[絞込み]をクリックすると、条件に一致した適用除外だけがリストに表示されます。

- 適用除外のカテゴリのうち、カテゴリ—8.9(医療、監視測定機器)だけを対象として絞込みできます。
- リスト表示を物質群で絞込みできます。
- 期限内/期限外のいずれかを指定して絞込みできます。適用除外コードの期限が設定されていない場合は期限内として扱われます。
- 検索条件に文字列を入力すると、適用除外の参考訳に含まれる文字列で絞込まれます。

#### クリアボタン

[クリア]をクリックして、成分表の該当フラグと適用除外を削除します。



旧版 AIS では RoHS 備考欄に適用除外コードを直接入力できましたが、AI(S Ver. 4.0 以降は選択式になりました。旧版の AIS に入力されていた適用除外の情報は、外部リスト内に完全に一致するコードがあれば逆引きして引き継がれます。

### 3.7. 依頼者情報シート

成形品自体の情報ではありませんが、AIS の提出を依頼した会社情報等を入力できるシートです（図 3-40）。

#### 依頼者情報（任意）

		ひな形から読出
会社名 *		
会社ID	登録機関ID	
	企業ID	
依頼部門	部門名	
	住所	
依頼部門 担当者	氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	メールアドレス	
提出年月日		
依頼者型番 1		
発行者型番 1		
依頼者型番 2		
発行者型番 2		
依頼者型番 3		
発行者型番 3		
依頼者型番 4		
発行者型番 4		
依頼者型番 5		
発行者型番 5		
依頼者型番 6		
発行者型番 6		
依頼者備考 1		
依頼者備考 2		
依頼者備考 3		

図 3-40 依頼者情報シートの画面

[ひな型から読出]をクリックすると、「会社名」から「メールアドレス」までの項目は、動作設定シートの「C.依頼者会社情報ひな形」の欄に入力されている内容をコピーすることができます。なお、依頼者情報自体の入力は任意ですが、入力した場合には会社名は必須入力になります。



3.8. 動作設定シート

お使いの環境に合わせて、動作設定シートをカスタマイズできます（図 3－4 1）。

3.8.1. 起動時の設定  
ツール動作設定

A.起動時の設定		設定を保存
言語設定	1:日本語	
起動時に外部リストバージョンを確認	1:確認する	
最大表示エラー数 *	100	

図 3-41 動作設定シート 起動時の設定の画面

言語設定

日本語、英語、中国語の中から、使用する言語を選択して下さい。

起動時に外部リストバージョンを確認

本ツール起動時における外部リストバージョンの確認の有無を設定できます。初期値は「確認する」に設定されています。インターネットに接続しない環境で使用することを想定し、「確認しない」に設定することも可能です。

最大表示エラー数

エラーチェック時(XML 出力を含む)に表示されるエラー件数を設定できます。エラーチェックの時間は読込む AIS のサイズに比例します。それ故、初期値は 100 件に設定してあります。

3.8.2. 発行者会社情報ひな形

発行者情報を入力します。入力した内容は「一般情報シート」の[ひな型から読出]をクリックした際に「一般情報シート」にコピーされます（図 3－4 2）。



## B.発行者会社情報ひな形

会社名	英字表記 *	
	母国語表記	
会社ID	登録機関ID	
	企業ID	
発行部門	部門名 *	
	住所 *	
	電話番号 *	
	FAX番号	
	メールアドレス	
作成部門	部門名	
	電話番号	
追加情報		

図 3-42 動作設定シート 発行者会社情報ひな型の画面

### 3.8.3. 依頼者会社情報ひな形

依頼者会社情報を入力します。入力した内容は「依頼者情報シート」の[ひな型から読出]をクリックした際に「依頼者情報シート」にコピーされます（図 3-43）。

## C.依頼者会社情報ひな形

会社名 *		
会社ID	登録機関ID	
	企業ID	
依頼部門	部門名	
	住所	
依頼部門 担当者	氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	メールアドレス	


図 3-43 動作設定シート 依頼者会社情報ひな型の画面

### 3.8.4. 設定の保存

現在のツールの状態を保存したい場合に[設定を保存]をクリックすると、入力内容、設定内容が保存されます。Excel のブックの保存と同じです。

3.9. 複合化シート

説明シートで[AIS 複合化]を選択すると、複合化モードとして動作します（図 3－4 4）。



複合化は JAMP AIS Ver. 3.1 までは「集合化」という名称で呼ばれ、さらに「集合化」は「複合化」と「単純化」に分かれていました。Ver. 4.0 からは「単純化」が廃止されたため、「複合化」に名称が変更されました。

3.9.1. ファイルの追加

「ファイル名」欄のセルを選択した状態で[追加]をクリックすると、複合化したい AIS の xml ファイルを選択するダイアログが起動します。

AIS複合化

表示切替

1. AISに関する情報を表示

2. 発行者会社情報を表示

3. 成形品情報を表示

4. 組成成分情報(成形品)を表示

5. その他の情報を表示

依頼者情報を表示

依頼者型番等を表示

追加

削除

複合化実行

ファイル名	使用量	報告単位	員数	AIS種別	使用書式	リストバージョン	材質	物質
-------	-----	------	----	-------	------	----------	----	----

ファイルを開く

ファイルの場所

複合化

AISA4\_XXXX.xml

AISA4\_YYYY.xml

ファイル名(N):

開(O)

キャンセル

ファイルの種類(T):

XML(\*.xml)

図 3-44 複合化対象ファイル追加の画面

複合化したい AIS の xml ファイルを選択し、[開く]をクリックすると、同ファイルを読み込んで、シートに表示されます。複数の同ファイルを同時に指定することができます。

3.9.2. 複合化に使用できないファイル

下記のファイルは複合化時の元ファイルとして使用することはできず、ファイル指定時にエラー報告されます。また、一度に複数の xml ファイルの追加中に、使用できない xml ファイルがあった時点で同ファイルの追加ができなくなります。

**AIS Ver. 3.1 以前の単純化されたファイル**

単純化されたファイルは組成成分の情報が欠如している可能性があるため、複合化の元ファイルとしては使用できません。

**AIS Ver. 3.1 以前の GADSL または JIG を対象としていないファイル**

AIS Ver. 4.1 からは GADSL および IEC62474/JIG を必須の報告対象となったため、これらを報告対象としていない旧版のファイルを複合化の元ファイルとしては使用できません。これらのファイルは編集モードで開き直し、物質情報更新処理を行うなどして GADSL および IEC62474/JIG の対象区分を更新することで、複合化の元ファイルとして使用できるようになります。

**AIS Ver. 4.0 以降の一時保存形式の AIS ファイル**

一時保存やエラーがある状態で出力した AIS ファイルを、複合化の元ファイルとしては使用できません。

**その他のファイル**

MSDSplus など、AIS 形式でないファイルを複合化の元ファイルとしては使用できません。

**3.9.3. ファイルの削除**

複合化対象から削除する場合は削除したい行を選択して、[削除]ボタンをクリックしてください（図 3-45）。

**AIS複合化**

表示切替

☒ 1. AISに関する情報を表示

☐ 2. 発行者会社情報を表示

☐ 3. 成形品情報を表示

☐ 4. 組成成分情報(成形品)を表示

☐ 5. その他の情報を表示

☐ 依頼者情報を表示

☐ 依頼者型番等を表示

追加

削除

複合化実行

ファイル名	使用量	報告単位	員数	AIS種別	使用書式	リストバージョン	
						材質	物質

図 3-45 ファイル削除ボタンの画面(複合化シート)

**3.9.4. 追加した AIS の内容確認**

複合化したいファイルを追加すると、そのファイルの一般情報の内容がシート右部に表示されます。表示内容を画面上部の[表示切替]のラジオボタンから選択してください。

**AIS複合化**

表示切替

☒ 1. AISに関する情報を表示

☐ 2. 発行者会社情報を表示

☐ 3. 成形品情報を表示

☐ 4. 組成成分情報(成形品)を表示

☐ 5. その他の情報を表示

☐ 依頼者情報を表示

☐ 依頼者型番等を表示

追加

削除

複合化実行

ファイル名	使用量	報告単位	員数	AIS種別	使用書式	リストバージョン	
						材質	物質

1. AISに関する情報

	初版	
シート整理番号	発行日付	改訂

図 3-46 表示切替ラジオボタンの画面(複合化シート)

### 3.9.5. 複合化の実行

ファイルを1つ以上追加した状態で、[複合化実行]をクリックすると複合化が実行されます。その際、使用量(報告単位が「個」以外の場合)と員数は必須入力項目です（図3－47）。

#### AIS複合化

表示切替	<input type="radio"/> 4. 組成成分情報(成形品)を表示 <input type="radio"/> 5. その他の情報を表示 <input type="radio"/> 依頼者情報を表示 <input type="radio"/> 依頼者型番等を表示
<input checked="" type="radio"/> 1. AISに関する情報を表示 <input type="radio"/> 2. 発行者会社情報を表示 <input type="radio"/> 3. 成形品情報を表示	

追加 削除 複合化実行

ファイル名	使用量	報告単位	員数	AIS種別	使用書式	リストバージョン	
						材質	物質
AISA4_XXXXXX.xml		個	1.0	AIS	Ver.4.0	1.999	2.999
AISA4_YYYYYY.xml		個	3.0	AIS	Ver.4.0	1.999	2.999

1. AISに関する情報		
シート整理番号	初版	改訂
	発行日付	
	2011/10/9	
	2011/10/9	

図 3-47 使用量と員数入力画面(複合化シート)

複合化実行後は AIS 編集モードに移行することにより、編集用のシートが表示されます。以降の操作は AIS 作成と同様です。

## 4.トラブルシューティング

---

### 4.1. エラーが表示されて先の操作に進めない場合

#### 起動時に環境非対応の警告メッセージが出る

お使いの PC の環境が「1.2 動作環境(1 ページ)」に適合しているか確認してください。

#### 操作中に「実行時エラー」が発生する

セルへの情報入力時のコピー&貼り付け操作で、シートの書式が崩れてしまったことが主因です。元に戻すことができない場合は、JAMP のウェブサイトから本ツールを再度ダウンロードして再インストールして下さい。その後も同じ操作で実行時エラーが発生する場合はツールの不具合である可能性もありますので、JAMP にご連絡下さい。以降のツールの品質改善に役立てさせていただきます。

#### 起動時に「本ツールは現在お使いの環境に対応していません。MSXML6.0 sp2 をインストールした状態で再度起動してください。」というメッセージが出る

以下のサイトから MSXML6.0 sp2 (msxml6-KB973686-jpn-x86.exe) をインストールしてください。

<http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/details.aspx?FamilyID=819352DF-CFFA-413A-94D1-6213927137F6>

### 4.2. Microsoft Excel のバグによる挙動の不具合

#### ボタンをクリックするたびに、ボタンや文字の大きさが変わったり、移動したりする

Microsoft Excel の不具合により、まれに発生します。ツールを保存しないようにして再起動してください。保存したことによりレイアウトが崩れたまま元に戻せない場合は、ツールを再度ダウンロードして再インストールして下さい。

### 4.3. Microsoft Excel の設定による挙動の不具合

#### %入力欄で"1"より大きい数字を入力すると「入力した値は正しくありません」というメッセージが出る

Microsoft Excel の設定によって発生します。Windows XP の場合、メニューバーのツール(T)からオプション(O)を選び編集のタブの中の「パーセンテージを自動で入力する(T)」にチェックを入れてください。

#### マクロが動作しない

次のいずれかに該当していないか確認してください。

- ZIP 形式などの圧縮フォルダから本ツールのファイルをダブルクリックにより起動させる場合、正常に起動しないことがあります。必ず、解凍したフォルダから本ツールのプログラムを起動させてください。
- Microsoft Excel2007 以降で使用されているファイルの拡張子「\*.xlsx」で保存すると正常に動作しません。それ故、必ず、「\*.xls」の拡張子で保存した上で実行してください。

## 変更履歴

項番	章・節	変更日	変更内容	変更理由
1	全般	2012-1-12	AIS Ver. 4.00 準拠	初版発行
2	3.2.4	2012-3-1	(誤) 質量は質量単位は選択入力 (正) 質量単位は選択入力	不要記載の削除
	3.4.4		(誤) 核法令 (正) 各法令	誤記訂正
3	3.4.4	2012-6-19	図 3-26 RoHS 指令官報番号修正	誤記訂正
	3.6.1		図 3-36 RoHS 指令官報番号修正	誤記訂正
4	全般	2013-6-25	AIS Ver. 4.1 準拠	初版発行